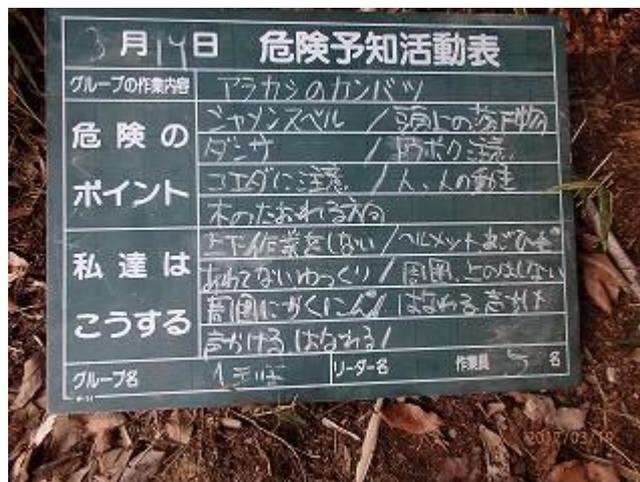
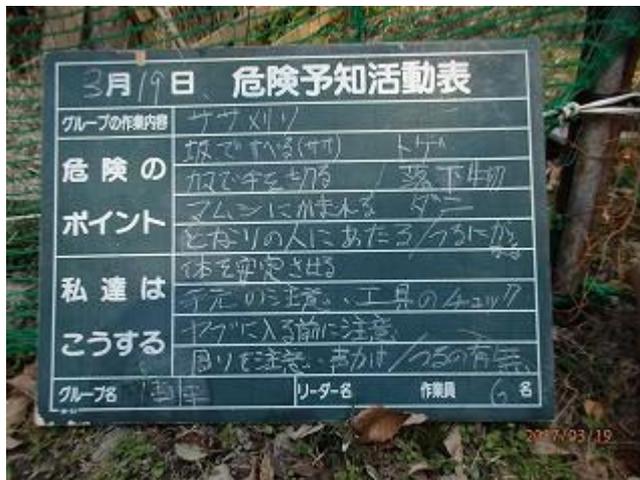


KYK（危険予知訓練）のやり方

KYKは作業開始前に全員で危険予知（起こる可能性のある災害を想定）を行い共有し、その防止対策を立てることによって災害発生のリスクを未然に防止する手法です。

<作業開始前>

- 1、いつ : 作業を始める前に
- 2、誰が : 作業者全員で
- 3、どこで : 作業場所で
- 4、どのように:
 - ① リーダーを決める
 - ② KYKボードを使って
 - ③ KYKボードに実施日、作業名、グループ名、作業人員を記入する。
作業者一人一人に、実施する作業場、周りの環境、作業内容から、危険を予知してもらい、聞き出し「危険のポイント」に記入する。記入欄が不足する場合は余白に記入する。
 - ④ 「危険のポイント」をすべて記入後、読み上げ確認する。
 - ⑤ 次に、「危険のポイント」一つ対して、あなたならどうする、と作業者一人一人に聞く。
対策が決まれば、「私たちはこうする」に記入する。
 - ⑥ 「危険のポイント」全てに対して、繰り返し「私たちはこうする」を行う。
 - ⑦ 「私たちはこうする」をすべて記入後、読み上げ確認する。
 - ⑧ 最後に「ご安全に」を唱和し終わる。



実際のKYK事例写真（上：ササ刈り、下：アラカシの間伐）

<作業終了後>

- 5、いつ : 作業を終わった時に
- 6、誰が : 作業者全員で
- 7、どこで : 作業場所で
- 8、どのように:
 - ① リーダーを決める
 - ② 作業開始前に記入したKYKボードを使って
 - ③ 作業を行って、「危険のポイント」と「私たちはこうする」に対しての結果を作業者一人一人に聞き出す。
 - ④ 「危険のポイント」と「私たちはこうする」をすべて聞き取り確認する。
 - ⑤ 次に、「ヒヤリハット」したことがないか作業者一人一人に聞く。
あれば、所定のシートに記録する。
 - ⑥ 最後に「ご安全に」を唱和し終わる。